

# 東部ことぶきだより

## 行事報告 6月～12月

### (1) 平成 23 年度総会

日時：6月26日(火) 14時～16時

講演会：「身近な事故に対する応急処置」

講師：岡崎博様(中野消防署宮園出張所主任消防司令補)

参加者；61名

### (2) 世話人会 6回開催

### (3) キッズ・プラザ塔山 行事協力

#### ◆「このゆびとまれ：囲碁・将棋であそぼう」

日時：7月26日(木)・27日(金)

場所：キッズ・プラザ塔山(塔山小学校内)活動室

参加者：染谷吉雄(21期)、小泉良雄(24期)、植松務(32期)、緒方澄尚(生1期)、喜多村義紀(生1期)、村守幸子(生1期)、鈴木研治(生2期)、峰元和博(生5期)

#### ◆「このゆびとまれ：昔あそび」

日時：12月18日(火)・19日(水)

場所：キッズ・プラザ塔山(塔山小学校内)活動室・校庭

参加者：鈴木富子(34期)、双木数恵(34期)、森林博子(35期)、緒方尚澄(生1期)、喜多村義紀(生1期)、斎田昭義(生1期)、村守幸子(生1期)、浅香久子(生3期)、伊井数子(生3期)、小田切昭(生3期)、坂井卓(生3期)、三宅恒太郎(生3期)、水野裕美(生5期)

### (4) 東部まつりの作品展に参加

日時：10月6日(土)・7日(日)

場所：東部区民活動センター

出展者：小泉良雄(24期、写真)、建石鈴子(26期、革細工)、中川昭二(26期、絵画)、橋本昭(27期、絵画)、鈴木富子(34期、毛糸手

## 会員と地域の皆さん参加の日帰りバス旅行(袋田の滝) 2012.11.5



東部ことぶきの活動

編みの鈴)、森林博子(35期、皿の焼きも)、  
今田和代(生1期、エコバッグ)、緒方澄尚  
(生1期、俳句)、喜多村義紀(生1期、俳  
句)、中田みや(生3期、さやか人形)

体験コーナー：新聞紙を利用した手提げバッ  
グの製作、指導：今田和代(生1期)

(5)日帰りバス旅行 紅葉の名所花貫溪谷と  
袋田の滝見学

日時：11月5日(月)

場所：花貫溪谷(散策)、関所の湯(昼食)、

関所こんにやく(買い物)、袋田の滝(見学)、那  
珂湊森田水産(海産物買い物) 参加者：39名

(6)「なかの生涯学習大学」地域学習(1・2・3年  
合同)

日時：11月7日(水)

場所：東部区民活動センター

テーマ：地域の活動を探る

(7)ボランティア活動

◆ポイ捨て禁止運動のボランティア

日時：9月7日(金)

写真で見る東部ことぶきの活動 2012年6月~12月

総会 2012.6.26

総会風景



応急措置の実技指導



応急措置の実技体験



東部まつりに作品出展 2012.10.6~7

出展作品と東部ことぶきの展示コーナー



エコバックづくりの体験コーナー



場所：東中野駅頭

活動：区の美化運動の一環として、ポイ捨て禁止を呼びかけるため、ティッシュペーパーの配布（東部ボランティアと共同）

参加者：喜多村義紀（生1期）、村守幸子（生1期）、北村豊子（生2期）、鈴木研治（生2期）

◆東部演芸大会（東部友愛クラブ連合会主催）のサポート

日時：9月29日（土）

場所：塔山小学体育館

活動：会場設営、出演者のサポート、壇上の椅子の上げ下ろし等々裏方全般の仕事

参加者：植松務（32期）、喜多村義紀（生1期）、鈴木研治（生2期）、小田切昭（生3期）、川俣桂子（生3期）、坂井卓（生3期）、三宅恒太郎（生3期）、峯元和博（生5期）

（8）「東部ことぶきの日」 6回開催  
会員の交流、楽しみ、憩いの場として毎月第一火曜日。毎回「ことぶきの日通信」発行

### 日帰りバス旅行（袋田の滝、花貫溪谷ほか）2012.11.5

袋田の滝全景



花貫溪谷吊り橋

名物食べ物やさん



### 塔の山キッズ・プラザ

囲碁・将棋であそぼう 2012.7.26～27



昔あそび 2012.12.18～19



## 安全・安心に暮らすために

34期 儘田 宏

私は8年前に町会の推薦で、東京都青少年・治安対策本部主催の「安全・安心まちづくりアカデミー」を受講し、犯罪心理学における「破れ窓理論（割れ窓理論）」を学習しました。

7年間、都内小学校に行き4年生に授業で「地域安全マップづくり」の指導を行っており、谷戸小学校、塔山小学校には7年連続して訪問し指導しております。また防災士の資格を取得し、半年前から防災も含めた「地域の安全・安心を考える会」を主宰しております。

平成24年1月から9月までに発生した「侵入盗（空き巣・忍び込み）件数」を平成23年同期と比較してみますと隣接する新宿、杉並、練馬区は減少していますが、中野区だけが増加しております。中野区内には82の町丁があり、その内私たちが住む「東部地域」には5つの町丁があります。平成23年の東京都内5, 100町丁別・犯罪発生状況において、「侵入盗（空き巣・忍び込み）のワーストランクに、東部地域の二つの町丁が第二位（22件）と、第五位（14件）にランクされております。都内で自転車盗のワースト一位が中野駅北側地域（198件）で、ワースト九位（128件）も隣接町です。これらは、先般発売の週刊誌に「犯罪が多い街・少ない街：ランキング一覧表」として掲載されております。

中野区には犯罪者を寄せ付ける要因があるのか、又は住民が無関心なのでしょうか。空き巣の86%は下見をしており、見つかっても「110番」されない場所「無関心な地域」を選びます。犯罪者は場所を選ぶ時に、四つのことを基準にし

ます。「ゴミの放置と指定日以外のゴミ出し」、「落書きの放置」、「放置自転車」、「電柱の違法広告物」であり、中野区の増加要因は他区に比べてこれらの要因が極めて高く、犯罪者を寄り込んでいると考えられます。私は自転車で、杉並区や新宿区を巡回しますが、この地域はゴミも落書きも少なく中野区は他区と比較して「無関心な地域」が数十箇所で見られ、警視庁作成の犯罪発生マップと相関性を感じます。

隣接する北新宿地域（旧、柏木）では、町会・自治会が「割れ窓理論」を理解し「落書き一掃作戦」を先月から始めました。先日、新宿区危機管理課から要請があり、若松町地域区民活動センターで町会・自治会、PTAを対象に「防犯講座と町歩き：地域安全マップづくり」講習会を実施しました。

振り込め詐欺の被害が一向に減らず、10月15日に区内北部地域において現金を取りにくる手口で高齢者の方が、高額被害に遭いました。10月から11月に、東部地域・隣接地域で「オレオレ詐欺」による被害が四件も発生しました。半年前に私の家にもオレオレ詐欺の電話が掛かってきて対応した家内は、何の疑いもなく「風邪をひいた」と言う相手を次男と思い込み、改めて次男に電話しオレオレ詐欺の電話と判り中野警察署に通報しました。「自分は大丈夫」と思っている、その時は頭が真っ白になりパニックになります。手口を知っていてもだまされ、対処法としてだましの”わな”に対抗する「心理トレーニング」が重要です。新たな手口を次々と丸々覚えるよりも、悪質商法や振り込め詐欺のシナリオを分析する練習を行なうことが効果的です。何かお金がいる話が舞い込んできたとき、だましの”敵”がそのどこかに怪しく潜んでいそうな気配にさっと気づいて警戒できるようにすると良いそうです。「携帯を変えた」「風邪をひいた」「ATM」「還付金がある」「必ず儲かる投資がある」等の言葉が出たら脳が反



応する訓練が大事です。これらのキーワードを電話口に貼って防御するのも有効だそうです。

この原稿を書いている時に、神田川添いの地域で5世帯が焼失する火災があり、三週間後には大久保通り沿いで火災があり、一人の方が亡くなりました。

中野区においても、犯罪者を寄せ付けない「割れ窓理論」の理解と実践が重要になっており、今後も「地域の安全・安心を考える会」として、「割れ窓理論」の啓発活動を推進していきたい。「防犯に」最大の決め手は「地域の目」であり、「防災に」最大の決め手は「地域の絆」です。

## “地獄で仏”

生3期 坂井 卓

今から20年近く前、私はまだ現役で50歳代後半の頃、アメリカに在る関連会社との技術交流の為に1年間ほど先方の会社で仕事をする事になり、単身で赴任することにしました。

5月の初めに渡米し、オハイオ州のクリーヴランドで、周囲には日本人が一人も居ない環境で戸惑いながらの生活が始まりました。

仕事や生活にも慣れてきた8月の初めに、家内と2人の倅（大学を卒業して間もない新米の社会人達）を呼び寄せました。久し振りに家族揃って楽しみ、倅達は一週間で帰国しましたが、家内は暫らく残らせることにしました。

元々単身赴任の予定でしたので、私だけが Visa を取得し、家内は“Visa なし”でしたので滞在期間は3ヶ月が限度でした。期限となる11月初めにはヨーロッパへ行かせて、再入国により更に3ヶ月間の滞在資格を得ました。

次の滞在期限を更新する時期は1月末の寒い時期でしたので、暖かいカリブ海のバハマ諸島を選び、私も休暇をとって同行しました。

バハマは観光立国ですが、観光客の殆どはアメリカ人なので、アメリカへ帰る旅行者はバハマの空港で搭乗前にアメリカへの入国審査を受けることになっています。

思わぬトラブルに遭遇したのは、帰途に空港でアメリカへの入国審査を受けたときでした。

私の前に家内が先に入国審査の窓口に行ったのですが、何だかもたついている様子なので、私が窓口へ行ったのが失敗の始まりでした。

審査官に訊かれて、私は「配偶者だ」と答えたところ、私のパスポートの L-1 Visa（企業内転勤の Visa）を確認するや、急に態度を変えて、「この女は不法入国の疑いがあるので入国を認めない」と言い始めました。

理由は「L-1 Visa を所有する者の配偶者なら、当然 L-2 Visa（L-1 Visa 所有者の家族）が発給されるが、それが無い者は配偶者ではない」という理屈でした。片言の英語で「日本では単身での海外赴任はめずらしい事ではない」と説明しても、「夫婦が海外に別れて暮らすなんて、考えられぬ」と全く理解してくれません。

これは家庭生活に関する認識（文化）の相違で、私の英語能力では説得は全く不可能でした。

致し方なく空港の航空会社へ行き、搭乗をキャンセルして、空港前の芝生に寝転んで懸命に対応策を考え、一旦ロンドンへ飛んで、其処から通常の方式（米国到着時）の入国審査で、アメリカへ戻ろう、との結論に達しました。

再び航空会社の事務所にゆき、行き先を変更せねばならぬ経緯を説明しました。

航空会社の職員は「ロンドンまで行くのは勿体ない。バハマのアメリカ大使館へ行って正規の Visa を取ればよい。それには首都のナッソーがある島に行かねばならない。先ずナッソーの日本領事館に相談するとよい」と言って、日本領事館の電話番号を調べてくれました。

藁にも縋る思いで、公衆電話にかじりつき、下手な英語で日本領事館の受付の女性に窮状を訴えました。彼女はきれいな英語でゆっくりと話してくれ、相談に乗るから領事館に来るようにと、ナッソーのホテルを捜してくれました。

やっとの思いで曙光を見出し、ナッソー行きフライトの空席を待ち、最終便で深夜にナッソーの



“地獄で仏”  
ナッソーの日本領事館前で  
“家内は安心してニコニコ顔。私はまだ残る関門を意識して緊張が解けない”  
この後「菊の御紋章」に最敬礼をして、アメリカ大使館へと急ぎました。

ホテルにたどり着くことができました。

翌朝ホテルのフロントで 日本領事館の場所を確認しましたが、都合の良い交通機関は無く、歩いて行くことになりました。

徒歩で凡そ1時間と目論んで行った先は 閑静な住宅街で人通りは無く、オフィスらしい建物や看板は見当たりません。メモしておいた街路名や番地からは、この近辺であることには違い無さそうなので、南国の太陽に照らされながら 周辺を2度・3度と巡り、探し続けました。

そろそろ気力・体力が萎えかけてきた頃、何度か前を通った民家風の建物のドアの上に 何か輝くものを見つけました。我が目を疑う思いで 近づいたら紛れもなく「菊の御紋章」でした。

この時はまさに“地獄で仏”に出会った思いで胸が熱くなりました。

建物に入ってみると 受付に昨日電話で話した女性が居る他は、現地人の名誉領事が1人居るだけの極めて小さな領事館でした。

名誉領事は 私とほぼ同年輩で、日本語は話せませんが 私の話を聴いて、アメリカ大使館と電話で交渉して便宜を図ってくれました。

お蔭で 正規の Visa が取得できましたので、今度は胸を張って入国審査を通り、無事クリーヴランドに帰ることができました。

この出来事で、“日本人の常識は、国によっては非常識”の場合がある。また“国旗や御紋章は、国民の心の拠り所”である、ということ強く感じました。

## 続・古本逍遙

生2期 元木英雄

50号記念号に「一箱古本市」について書きましたが、中途半端で終わってしまったので続きを書きます。また古本のことかとお思いでしょうがど素人が書く作文です。ご容赦いただければ幸いです。

「一箱古本市」とは簡単にいえば素人がミカン箱に古本を入れて売ることです。町の活性化を目的としたイベントの中の一つとして現在では全国各地で行われるようになりました。発祥は東京で、谷中・根津・千駄木、通称「谷根千<sup>やねせん</sup>」と呼ばれるエリアからはじまりました。早稲田・目白・雑司が谷の頭の字をとって「わめぞ」と呼ばれるエリアも有名です。「谷根千」の「一箱古本市」は、このエリアに点在する商店の軒先を借りて、その前で一人が一箱の古本を販売するというイベントです。場所を貸してくれる店を「大家さん」、販売する人を「店主さん」と呼びます。店の業種は新刊書店、古書店、ギャラリー、雑貨店、喫茶店、生肉店と多種多様で、教会や特別養護老人ホームなど公共施設もあります。場所ごとに広さの条件が違うので、出店者の箱の数はことなります。

いままでの古本市といえば、プロの古本屋が大量の本を並べて売るのが当たり前でしたが、一箱古本市は期限内に主催者に登録すれば、だれでも自由に参加できます。各自がそれぞれ自分の屋号を付けるとともに、一冊一冊にこれくらいなら売れると思われる値段を記入したスリッパを挟み込みます。また会計は個々に行います。店主はどんな本を出すか、どんな売り方をするかも含めて「古本屋ごっこ」を楽しむわけです。箱のディスプレイに趣向をこらしたり、買ってくれた人におまけを付ける店もあります。実際に「一箱古本市」のお客として参加した人はどんな楽しみ方をしたのか、不忍ブッ

クストリートを歩かれた猫好きの「出不精さん」という方のブログをお借りしてご紹介しましょう。

「千駄木駅で降り、岡倉天心記念公園へ。六角堂内の天心坐像を眺める。一箱古本市の開始時間となり、アートスペース・ゲントのドンペーブックスで一冊選ぶ。今回は箱の周りの本も見ることができたけれど、今回は順次箱に補充する感じだった。貸はらっぱ音地に寄り、コシヅカハム前で一冊。花歩から古書ほうろうへ向かい、Wさんと合流。ペチコートレーン2階の不思議で一冊。特別養護老人ホーム谷中の四谷書房で一冊。猫町カフェ29からねんねこやけ。猫店員の犬歯を触ってから買物。釜竹に到着、並んでいる間にいろいろ話しを聞く。釜竹を出た後、再びアートスペース・ゲントへ行くも終了したところで見れず。昼飯に時間を使い過ぎた。Wさんももっと本を選びたかったろう。谷中銀座で看板猫を撮る。」

今日「出不精さん」が買った本は5冊です。

ラディゲ・野口大學訳「ドルジェル伯の舞踏会」  
講談社文藝文庫 300円

田中小実昌「ぼくのシネマ・グラフィティ」新潮  
文庫 350円

大熊義邦「江戸建築叢話」中公文庫 500円

片岡義男「ホームタウン東京」ちくま文庫 200円

いろいろな店がでてきます。ネットで調べて分かったものだけをご案内します。

アートスペース・ゲント：岡倉天心記念公園には

ど近いギャラリー

花歩：谷中にあるカフェ

貸はらっぱ音地：谷中にあるギャラリー

ペチコートレーン：千駄木にあるカフェ

猫町カフェ29：根津にあるカフェ

釜竹：根津にある行列のできるうどん屋

看板猫：谷中銀座「はつねや」の屋根に乗っている彫刻の猫

友人と逢い、美味しいうどんを食べ、好きな猫の写真を撮り、一日楽しく「一箱古本市」を巡った様子がうかがわれます。

小生の「一箱古本市」での出来事を紹介しよう。書評家としてまた古本の世界でも有名な岡崎武志さんが店主として出店した雑司が谷の鬼子母神通り商店街で行われた「みちくさ市」で岡崎さんと親しくお話をさせていただきました。岡崎さんは早速翌日のブログで小生のことを書いてくれました。「未知のお客さん（男性、70歳代）で、「古本道場」（岡崎さんの著書）で古本に目覚めて、古本屋、販売会へ行きまくっているという方が来てくれてうれしかった。古本屋めぐりは健康にもいい、とおしゃってくださった。おまけに木の実ナナ、小田実などのサイン本をお土産にくださる」

念願の著者とも話しができ、小生も嬉しかった。皆さんも散歩がてらに何処かの「一箱古本市」にいらしたらいかがですか。素敵なお見聞があるかも知れません。

## 俳句

二七期 渡邊和男

栗飯や栗剥く妻のありてこそ  
当たり鉢あたり木ありし

とろろ汁

五階まで見舞いのとんぼ

飛び来る

灯の消えて

今日の夜長の始まり

三月目の退院に山粧ひけり

冬立つや昼の傘寿のクラス会

冬至湯に浸り鼻唄傘寿かな

生一期 緒方澄尚

肩越しに金魚掬ひの指南とぶ

藍染めの折目残りし夏のれん

盆踊り藍染め香る舞台裏

紫陽花の絵手紙届き達者かと

友逝くや淋しさつる秋彼岸

山深く葛たくりて通草とり



## 中野区東部ボランティア協力員募集

中野区東部ボランティア（東部区民活動センター内）ではボランティアとして空き時間にちょっとしたお手伝いをお願いできる方を協力員として募集しております。

### \*お手伝いの内容の例

- ・外出の手助け ・買い物や薬とりに行く
- ・ちょっとした片付けや掃除
- ・高い場所の電球の取替え ・話し相手 など

### \*申込み・問合せ先 喜多村義紀

電話03-3369-8985

協力員へのお手伝い（仕事）の依頼は

[相談される方→「東部ボランティア」相談窓口→東部ことぶきボランティア相談窓口（喜多村代表）→協力員への依頼]となります。

## 「東部ふれあい食事サービス」

### 配食ボランティアを募集しています

毎週木曜日に、配食サービスを受けている高齢者のご自宅まで、心温まる手作りのお弁当を届けていただきます。

この訪問活動は、東部地域で20数年にわたり続けられており、支えあい事業の一環として、高齢者の方々を見守るという意味でも大切な事業と捉えております。少し時間のある方、是非お手伝いをお願いいたします。

### 【ボランティアの内容】隔週木曜日（祝日は休み）

概ね、月2回 11時30分～

A班：1・3週 B班：2・4週

ただし 5週目はA班とB班で交替

配達件数：1件 東部区民活動センターから高齢者のご自宅まで。

### 【問合せ・申込み】

- ・東部ふれあい食事サービス 代表 松原貞子  
Tel3361-9532

または

- ・東部区民活動センター運営委員会事務局  
Tel3363-0631

## 東部ことぶき今後の行事予定

（平成25年1月～6月）

- 1月 8日（火）東部ことぶきの日・世話人会
- 1月15日（火）東部ことぶきの日・世話人会
- 1月22日（火）新年研修会・懇親会
- 1月26日（土）キッズ・プラザ塔山 親子もちつき大会行事協力
- 2月 5日（火）東部ことぶきの日・世話人会
- 3月 2日（土）・3日（日）さくら館まつり「伝承あそび」行事協力
- 3月 5日（火）東部ことぶきの日・世話人会
- 3月下旬 歩こう会（予定）
- 4月 2日（火）東部ことぶきの日・世話人会
- 5月 7日（火）東部ことぶきの日・世話人会
- 6月 4日（火）東部ことぶきの日・世話人会
- 6月25日（火）平成24年度総会

「ことぶきの日」は私たち会員の  
居場所、サロンです  
何かが起こる 何かを起こしましょう！

毎月第一火曜日は「東部ことぶきの日」です。  
午後2時から5時まで東部区民活動センター  
2階洋室2は  
「東部ことぶき」の方は  
どなたでも自由に出入りができます。

毎回、興味深い趣向を準備しておりますが、それとは別に

やりたいことのある方も、  
時間をもてあまして

### 交流、楽しみ、憩いの場として、ぜひ一度

どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。  
無駄話もできるようにお茶の用意もあります。

メールや電話もよいけれど実際に顔を合わせるととんでもないことが起こるかも知れません。**まずは顔を合わせましょう！**